

翔生 (しょうせい)

Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染みやすいロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名(Young



発行 全国商工会議所青年部連合会
 東京都千代田区丸の内3-2-2
 日本商工会議所中小企業振興部内
 ☎03-3283-7847
 編集 広報委員会

平成 5 年
 (1993年)
 11月1日号
 通巻 第15号
 (年2回 3月・11月発行)

Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者= Youth, Energy, Generalist)を表しています。

第13回 商工会議所青年部全国大会〈津大会〉

ごあいさつ

第13回商工会議所青年部全国大会の津大会が開催されるに当たり主催者を代表してご挨拶を申し上げます。

本年度の大会を主管されます商工会議所青年部の三重県連、津青年部の皆様には、並々ならぬご努力をされ今日に至ったことに深く敬意を表する次第であります。また絶大なるご支援を賜りました行政の皆様、関係商工会議所の皆様に対し厚く御礼を申し上げます。

本年度の商青連のスローガンは「変革の時、今—YEGが未来を築く。であります。今、まさに変革の時代であります。私達YEGは、この変革を開拓していくパイオニアとしての役割が期待されています。この大会を機に、そのことを全会員で確認して行きたいと考えます。

全国商工会議所青年部連合会
 会長 櫻井 誠 己



左より 竹内光伸・大会実行委員長、櫻井誠己・商青連会長、辻正敏・三重県商工会議所青年部連合会々長

「変革の時、今—YEGが未来を築く」の商青連スローガンのもと平成5年度第13回商工会議所青年部全国大会・津大会を三重県商工会議所青年部連合会主管により三重県の県庁所在地津市において開催させていただきます。

「おいーさ みんなしや」

大会初日の11月11日には、YEG親睦ゴルフコンペ、拡大役員及び前泊者懇親会を開催いたします。

大会2日目の12日には商青連語会議、グローバルな経営理念を持った市内企業を視察する企業視察会、全国のOB会員に親睦の輪を広げていただくOBサロン、商青連会員総会、そしていよいよ大懇親会。松坂牛はもちろん、三重県内のあらゆる特産をご賞味頂き、是非とも祭りの気分を味わっていただくことと全長13メートルの和船山車をメインステージに会場内は祭り一色、大いにYEGまつりを満喫

大会3日目の13日は、式典で始まり、記念事業に「笑いの原点、商いの原点」を演題に、吉本興業株式会社社長、中野秀雄氏による全員参加型の講演会を開催いたします。そして終了後には、県内各地のエキスカッションへと出発していただきます。

参加していただく皆様を、まことで迎えすべく三重県連一同、一丸となつて準備を進めております。

東からの伊勢参宮街道と西からの伊勢別街道の合流する街、「津」。東西の文化が行き交う街、東西の情報交換の場として賑わった街で、今—YEGの未来が始まる。

多くの皆様のご越しを、心よりお待ちしております。

おいーさ みんなしや

大会実行委員長 竹内光伸

11/11 THURSDAY

- YEG親睦ゴルフコンペ 7:00~16:00 津カントリー倶楽部
- 拡大役員懇親会、前泊者懇親会 19:00~21:00 津センターパレスホール
- ゴルフ表彰式 19:00~21:00 津センターパレスホール

11/12 FRIDAY

- 商青連語会議 9:30~12:30 津都ホテル
- 企業視察会 9:30~15:20 津市内(バスにて)
- 登録受付 12:00~19:00 三重産業振興センター
- OBサロン 15:00~17:30 三重産業振興センター
- 会員総会 16:45~17:45 三重産業振興センター
- 大懇親会 18:00~20:00 三重産業振興センター

11/13 SATURDAY

- 受付時間 8:30~ 三重県産業振興センター
- 式典・事業セミナー 9:30~12:45 三重県産業振興センター
- 1 商青連旗入場
- 2 開会宣言
- 3 若か代・斉唱
- 4 「商工会議所青年部の歌」斉唱
- 5 商工会議所青年部・綱領朗読 指針 唱和
- 6 全国商工会議所青年部連合会会長挨拶
- 7 日本商工会議所会頭挨拶
- 8 三重県商工会議所青年部連合会会長挨拶
- 9 来賓挨拶
- 10 来賓祝辞
- 11 来賓紹介
- 12 参加青年部紹介
- 13 記念講演
 - 演題「笑いの原点」
 - 原案 商いの原点
- 14 次年度全国商工会議所青年部連合会会長挨拶
- 15 次年度全国大会 開催地発表
- 16 閉会宣言
- エキスカッション 受付 13:00~14:00

第13回 商工会議所青年部全国大会

- 主催 全国商工会議所青年部連合会
- 日本商工会議所
- 主管 三重県商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部 津商工会議所青年部

▼和船山車

▲吉本興業株式会社 代表取締役社長 中野秀雄氏(なかむらひでお)

変革の時、今、YEGが未来を築く

全国9ブロックで運営研究会

白熱の討論、最大の参加者。日本全国でYEGがあつまり、そして、語り合いました。青年部のこと、地域社会のこと、そして世界の将来について。そこには明日に向かって船出する、若き企業家集団の姿がありました。

北海道ブロック ● 恵庭大会



アンケートを もとに全体会議

去る10月6日、7日平成5年度北海道ブロック運営研究会が恵庭市で開催されました。第1日目(6日)には、快晴の中、記念交流ゴルフコンペとエキスカッション及び前泊者交流会が開催され、親交の輪を拓きました。翌7日も好天の中、恵庭の部会員を含め、道内19青年部205名、道外からも15青年部34名、合計で予想を上回る239名の参加をいただきました。

今回の運営研究会では分科会を開催せず全体会議1ヶ所での討議となりましたが、その内容も実行委員会で準備を進める中で、「研究会をイベント、交流の場

時代の 主役としての 認識を

第12回東北ブロック商工会議所青年部運営研究会秋田大会は、9月4日秋田テラスを主会場として開催されました。

運営研究会は東北6県青年部の他、全国の役員も多数出席、約560名の参加を得ました。式典では、商青連の櫻井誠己会長が「変革の時代の中、若手企業家の責任は重

東北ブロック ● 秋田大会



平成の黒船、明日への出航 (たびだち)

第13回関東ブロック商工会議所青年部運営研究会は10月4日に横須賀で開催されました。今回は、平成の黒船、明日の出航を大会テーマに掲げ、会場を客船ふじ丸という今までのないシチュエーションの中で、参加人数も900名を越え大盛況のうちに終



懇親会はランナーチェによるサルサのリズムで一日の疲れを癒し、みんな帰途につきました。最後に、参加YEGの皆様にも多大なご協力をいただきました事、紙面をお借りして御礼申し上げます。

● 横須賀大会

大好評! ○×大討論会

石川、新潟、長野県のYEGの皆さんに地元富山県で約400名の参加で第13回北陸信越運営研究会は、9月18・19日の両日で開催いたしました。主催の黒船部会にとっては30周年の節目の年開催する記念事業ともなりました。会場はY

石川、新潟、長野県のYEGの皆さんに地元富山県で約400名の参加で第13回北陸信越運営研究会は、9月18・19日の両日で開催いたしました。主催の黒船部会にとっては30周年の節目の年開催する記念事業ともなりました。会場はY

北信越ブロック ● 黒部大会



大ジャンケン大会、災害義援金、仮装による盛り上がり大会など大いに盛り上げました。大会の全部を無事終えられたのは、プロダクト内のYEGの皆さん、遠路かけつけていただいた商青連役員の皆様のおかげだと思います。ほんとうにありがとうございました。

東海ブロック

● 恵那大会

町じゅう
松茸で大歓声



天高く馬肥ゆる秋。10月9日、第9回東海ブロック商工会議所青年部運営研究会恵那大会が開かれました。午前10時、登録開始後、「みのりの祭り」を見学。午後1時からの第一部では地元の実業家3名が講演。第二部の式典、第3部の桜井会長の記念講演とすべて見事定刻に終了しました。

このあと、韓国・ハンソル舞踊団による素晴らしい舞踊の披露がありました。全体の懇親会場となる「山菜園」に移動、松茸づくしの料理に舌鼓、木曽路グループによるジャズ演奏、伝統郷土芸能の杵振り踊りを楽しんだあと、ビンゴゲ

近畿ブロック

● 宇治大会

じぶん
新発見!!

8月28日(日)府立山城総合運動公園太陽ヶ丘において近畿はもとより全国各地から42単会432名の参加により盛大に開催された。この大会を通じて、交流、親睦を大いに深めたと確信致します。

成功裡に導いてくださいました桜井会長はじめ、全国各地から参加くださいました商青連役員の皆様、東海地区より参加くださいました敬意とお礼を申し上げます。



数々の行き届きがあったことと思いますが、暖かい友情に免じてご容赦くださいますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

中国ブロック

● 玉島大会

過去最大の
登録者数に

中国ブロック運営研究会は、9月24、25日倉敷市玉島で開催された。24日は、親睦ゴルフ大会、観光と宿泊者懇親会が開催され、参加者の熱い交流はすでにピークを迎えたかのように見えます。25日は、前日の夜ふかしをうらみながら早期座席からスタート。調身、調息、調心の姿勢を学びました。

式典は備中神楽のオープニングで始まり、いま私達の置かれた状況で、

四国ブロック

● 今治大会

熱気溢れるタオルと造船のまち



第14回四国ブロック商工会議所青年部運営研究会は、9月10・11日今治商工会議所青年部の主管のもと、タオルと造船のまち・今治市で、商青連役員、四国内の会員約400名が参加して開催されました。

初日は、親睦ゴルフコンペの後、豪華クルーザーで

来島大橋架橋地点、地場産業である今治造船、タオル会社の藤高などを見学しました。そして午後6時から懇親会では鯛の活づくり、郷土芸能太鼓などを味わいました。

九州ブロック

● 奄美大会

離島で感動の連続

奄美大島、鹿児島から南へ380km。ちょうど沖縄との中間に位置する人口7万6000人の島です。

奄美の青年部会員は、この大会での経済的な波及効果はもとより、全国YEG会員の皆様に、奄美ここに有り、とPR出来たことに満足致しております。

予想もしなかつた衆議院選挙で、100名以上でのキヤンセルが出て、約750名(同伴者含む)の大会ではありましたが、あの野外での、サンセット懇親会、の



第9回中国ブロック商工会議所青年部運営研究会

奄美大島、鹿児島から南へ380km。ちょうど沖縄との中間に位置する人口7万6000人の島です。奄美群島は北から、喜界島、奄美大島、徳之島、沖永良島、与論島の5島が連なり、全群島で人口が13万6000人、戦後の20万人の人口がここまで減っています。



特集 全国各地の青年部活動レポート

友情・交流・研鑽 輝けYEG、開け未来

現在、日本全国にある商工会議所のうち、青年部が設置されているのは400近くにのぼります。それぞれの地域で、それぞれのYEGが頑張っています。北から、南から「悩みを勇気に、ため息を笑顔に変える」—そんな元気の出る単会レポートをお届けします。YEG特選の、もぎたてニュースです。

「雪像づくり」で最優秀賞を受賞

帯広商工会議所青年部 北海道ブロック



冬の北海道はとにかく寒い。特に深夜から翌朝にかけての冷え込みは想像を絶するものがあります。そんな中、青年部では毎年雪像づくり「に」励んでいます。札幌の「雪まつり」は全国的に有名だが、帯広市においても、毎年1月末に「帯広氷まつり」が開催されています。全道氷彫刻コンクールや大ノリレスなどが人気もあるが、メンバーのお姿を想像して作った「雪像」が、市民参加の「氷像コンクール」です。我が青年部も毎年このコンクールに参加し、3日間のまったり期間中、フランクフルトやたこ焼きを焼いたりして、盛り上げに一役買っています。過去の出品作品は「アン

甦れ、日本最大の木造帆船

石巻商工会議所青年部 東北ブロック



石巻市は、宮城県北東部の太平洋岸、母なる北上川の河口にある、人口12万人の風光明媚な県下第二の都市で、漁港や工業港をもつ港湾都市です。昨年、当地で開催された「東北学おとし」で、伊達サン・ファン・カニバルが企画され、このなかで「サン・ファン・パウテスタ号」の復元計画がスタートしました。この計画が、380年の時空を超え、全長55m、幅11m、長さ48m、総トン数500tの日本最大で最後の木造帆船が、石巻に甦っていると思えます。この帆船は、伊達政宗公が、家臣・支倉常長に領内でキリスト教の布教を許可するのと引き替えに、メキシコとの通商を目的に派遣した時のものです。国際交流の先駆的役割を果たした使節団です。しかし、7年の歳月を費やして帰国した常長を待ち受けていたのは、徳川幕府の鎖国令と禁教令。航海の疲れから帰国後2年後に病没したのです。このように、大航海を果

「東海道五十三次、お茶壺道中」奮戦記

京都商工会議所青年部 近畿ブロック



「お茶壺道中」は、来年少開催される平安建都1200年記念事業のプレイベントとして、宇治の新茶を江戸の將軍家に献上した行列を130年ぶりに再現し、沿道各地へのPR活動として企画されました。6月6日、京都三条大橋を出発、東京日本橋までの530kmを献上茶を担ぐ奴と警備の武士のいでたちで、15日間を踏破するという企画を張ったイベントです。中核となる「歩き隊」を京都商工会議所青年部と京都青年会議所(JC)が務めました。1日平均40kmの距離を、8時間かけて時速6km(歩幅80cm)として1分12.5歩の強行軍で歩くのだから、足の裏にマメや水膨れができるのは当たり前、筋肉が痙攣してリタイア組が続出。でも、1日が終わると、全員が昔から仲間であったように抱き合っており、各地では、まちを上げての歓迎ぶり、中には、議

ふるさと再発見！「中山道歩こう会」

恵那商工会議所青年部 東海ブロック

私たちの町「恵那」は、古くから「中山道」が東西を通り、「大井宿」として栄えてきました。そんな歴史を知って、改めて勉強したり親しむという機会が少ないです。そこで、我がメンバー及び家族を中心に、歴史を振り返り、中山道に親しみ、相互の親睦を深めるために、地元の研究家を招き、「中山道歩こう会」と題して「きれいにしよう中山道」を合言葉に、それぞれがゴミ袋をもって集合し、



大賑わい「足利まつりグリーンフェスティバル」

足利商工会議所青年部 関東ブロック(足利)

春の祭典、第24回足利まつりは、平成の祭市・楽座をテーマに4月29日から5月5日の一週間全市規模で華々しく実施されました。青年部では、まつりのオープニングを飾る29日の「グリーンフェスティバル」を婦人部、茶の湯愛好会と共に主催しました。会場となった渡良瀬川河原中橋イベント広場では、小雨のなか第10回渡良瀬ウォーク(市民健康・イキング)や



SLの勇姿 真岡線に再び

真岡商工会議所青年部 関東ブロック



来春4月、あの懐かしいSLが25年ぶりに復活する見通しとなりました。当青年部では、真岡線にSLの勇姿を甦せようと4年間にわたってSL運動を展開してきました。子供達の夢を育み、沿線地域の活性化、新たな観光資源としてさまざまな波及効果が期待されています。昨年8月には、沿線1市5町の首長、議長に早期実現を求めました。生まれ変わりました。沿線には、江戸時代に隆盛を誇った「真岡木綿」や焼き物で知られる「益子焼」そして関東の清流「那珂川」などの観光資源も数多く、いま開業にあわせて整備を急いでいます。次城県下館市をはじめ2市5町共有の資産として、地域活性化に向けて、永久に動態保存し後世に伝え残すことにしています。

「共同受注グループ」発足

燕商工会議所青年部 北信越ブロック



燕市では、古くは和釘から始まり、キセル、ヤスリを経て、現在では金属洋食器、雑貨、建築金具、自動車部品、プラスチック製品などいろいろな物を生産しています。中でも、金属洋食器、雑貨は国内生産のシェアのほとんどを占めています。ただ、大半が中小企業です。燕青年部は、昭和56年に設立され、現在会員数84名。ほとんどは、ヤンセツ所に向けて送付の準備中。もちろん青年部の皆様にもお届け致します。何もしなくちゃ始まらない。自分たちがやってみよう。知恵と経験を出し合おう。という気持ちでやっています。興味のある方、お問い合わせ、連絡を待っています。当方としては、スピードイイ対応がモットーです。

青年部としての夏祭り

秋商工会議所青年部 中国ブロック



毎年8月1〜3日に行われる「秋祭り」をもっと活気のあるものにするために、青年部としてどういった取り組みをすればいいか。そこで、前夜祭のイベントとして「日開、当時として珍らしいドライブインシアター」を企画したのが平成元年7月の事でした。作品は、秋で上映されておらず、なおかつビデオ化されていないものを選別してきました。この5年間、92、93年と、島原から子供達を阿南へ招いて、交流を実施したのが、島原・阿南げんき塾です。テーマは「人と自然」。普賢岳災害の中で、強く生きる人々。子供達や青年部メンバーやボランティアと阿南の人々の交流の場。自然の素晴らしさ、厳しさを知ることができたらいいかなという思いから。2つ目は子供達の出会いの場づくり、ネットワーキングです。阿南YEGとボランティアの方々に民泊受け入れをお願いしました。台風7号の影響で島原出発が1日延びたのを除けば、計はすべて順調に進み、15日には全員無事島原へ帰りました。子供達からお礼の言葉がきや楽しかった夏休みの写真が届き、阿南からは、島原のみならず、島原の激励の手紙が送られました。この輪はさらに広がって、阿南市では島原支援センター、チリチリバザールが開かれ、島原の不知火まつりには

広がれ友情！「島原・阿南げんき塾」

阿南商工会議所青年部 四国ブロック



阿南市職員のア波踊りさゆり連が招かれました。YEG全国大会での島原・阿南両YEGの出会いが、地域の交流として輪が広がって、この事業を支えてくださった両市役所、商工会議所、そして多くの市民の皆様にご感謝を申し上げます。阿南市職員のア波踊りさゆり連が招かれました。YEG全国大会での島原・阿南両YEGの出会いが、地域の交流として輪が広がって、この事業を支えてくださった両市役所、商工会議所、そして多くの市民の皆様にご感謝を申し上げます。

沖縄・大村YEG姉妹縁組10周年

大村商工会議所青年部 九州ブロック

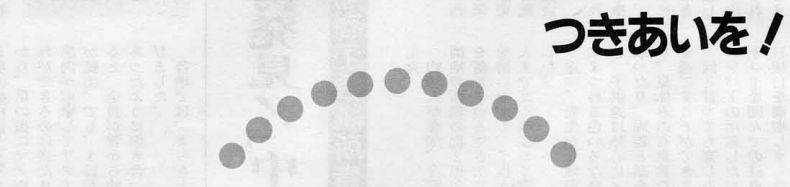


沖縄・大村商工会議所青年部の姉妹縁組10周年の記念式典が7月9日、沖縄市で開催されました。両青年部は昭和58年7月に、商工会議所青年部として、全国で最初に姉妹縁組を締結しました。両青年部の出会いには昭和56年7月の大分県における第1回九州ブロック商工会議所青年部運営研究会が始まり、第2回研究会が沖縄で開催され、交流が深まり、第3回が大村で開催さ

平成6年
2月8・9日

小田原で第11回中央研修会

経験の交流と裸のつきあいを!



平成6年2月8日(9)に神奈川県連連主官にて小田原市で開催された第11回中央研修会について報告いたします。この小田原の地は、気候温暖な太平洋の黒潮踊る相模灘をかかえ、近郊に自然の残る景勝地として栄え、人口20万都市として神奈川県西部に位置しております。戦国武将で有名な北条早雲旗揚げの地として御承知の通り、歴史と文化の香る城下町として、また世界的に有名な観光地「箱根」も、YEG諸君の御来訪をお待ちしております。

さて地方都市では、第11回富士山大会に続き2回目の中央研修会になりました。小田原では、過去の東京での研修内容と、先輩でありました富士山大会の示していた開催内容の総決算として再度検討しまして3つのコンセプトを設定しました。まず第一は、「事例研究発表会」と題しまして青年部単会活動の成果の発表の場を設けます。過去と現在の活動状況を発表し、各地域の単会活動を深く理解していただき、未来への在り方を

として参加者全員がディスカッションし、より高い次元にステップアップしていただくよう期待して発表いたします。

第二として「特別講演会」を開催します。普段なかなか聞く機会のない、超大物講師による、青年部活動に大いなる糧となるような特別講演会を開催いたします。

第三として「同業他所のグループ分け」をキヤッチ

グループ分け、小田原に着いた時から交流会が開始されます。商工会議所の職業分類に基づき5人から10人の小さなグループ分けをおこな

ない、職業上の共通の話題を導入として、グループ単位での行動と討論をお願い

します。せっかく遠路はるばるお忙しい中、この小田原の地に来ていただいた訳です。少しく多く発言してもらい、小田原ならではの、「お土産」を持って帰っていただきたいと思

います。対象者は、平成5年度会

長および平成6年度会長予定者、またはそれに準ずる役員と青年部事務局員とな

ります。落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと研修が

できます。商工会議所の会員であれば誰でも利用できます。家族や従業員の親睦や研修にも予約さえ取れば気軽に

つかえます。センター棟に入ると、2階まで吹き抜けになったエントランスホールと大ロビー。大ラウンジ、特別会議

室のほかに図書館もありま

す。研修棟には、15人程度の人数から200人まで収容できる大・中・小研修室、OA自習室が用意されてい

ます。このほか、マリンスポーツ、テニスコート、ゴルフ場、屋内スポーツなどの諸施設が整備されつつありま

す(平成7年度には全施設が完成予定)。

浜名湖では、四季を通じて釣りができ、海水浴場や潮干狩り、ヨット・ボートも楽しめます。

宿泊料金は、シングル6,800円、ツイン1万4,000

円です。問い合わせ・申し込み

は04300-7674-100

です。予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

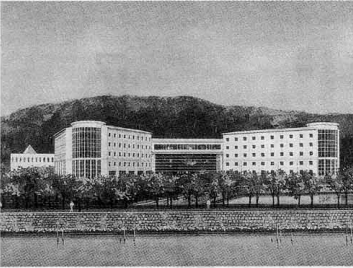
00円(2人使用のほかに和室もあります)。

交通は、新幹線を使うと、浜松で下車、タクシーで約40分、バスで1時間。浜松でJR在来線に乗り換え(待ち時間10分)弁天島駅まで行くタクシーで約10分。車の場合は、東名高速の「浜松西インター」から20分(浜松西インター)から20分です。

予約は、1年先まで可能

です。

00円(2人使用のほかに和室もあります)。



商工会議所福祉研修センター

「カリアック」

商工会議所の福祉研修センター「カリアック」がオープンしました。同センターは、浜名湖頭脳公園の中央にあり、前は浜名湖、背後は緑豊かな丘という静かな環境にあります。隣接して、コンピュータ操作やプログラミングなどの教育を行う頭脳センター、研究所が1デーンなどの諸施設が整備される事になって

います。落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと研修ができます。商工会議所の会員であれば誰でも利用できます。家族や従業員の親睦や研修にも予約さえ取れば気軽につかえます。センター棟に入ると、2階まで吹き抜けになったエントランスホールと大ロビー。大ラウンジ、特別会議室のほかに図書館もありま

す。研修棟には、15人程度の人数から200人まで収容できる大・中・小研修室、OA自習室が用意されてい

ます。このほか、マリンスポーツ、テニスコート、ゴルフ場、屋内スポーツなどの諸施設が整備されつつありま

す(平成7年度には全施設が完成予定)。

浜名湖では、四季を通じて釣りができ、海水浴場や潮干狩り、ヨット・ボートも楽しめます。

宿泊料金は、シングル6,800円、ツイン1万4,000円です。問い合わせ・申し込みは04300-7674-100

です。予約は、1年先まで可能

です。

「商青連第11回中央研修会」
スケジュール
場所(研修会) 小田原市民会館
(総会・懇親会) 箱根小湧園

時	研修内容	備考
11:30	受付	グループ分け
12:00	研修会	校井青連会長
12:45	研修会	4単会×15分
13:05	研修会	事例発表者・山崎教授
13:15	研修会	徒歩・バス
13:30	研修会	徒歩・バス
13:45	研修会	徒歩・バス
14:05	研修会	徒歩・バス
14:20	研修会	徒歩・バス
14:30	研修会	徒歩・バス
14:45	研修会	徒歩・バス
15:00	研修会	徒歩・バス
15:15	研修会	徒歩・バス
15:30	研修会	徒歩・バス
15:45	研修会	徒歩・バス
16:00	研修会	徒歩・バス
16:15	研修会	徒歩・バス
16:30	研修会	徒歩・バス
16:45	研修会	徒歩・バス
17:00	研修会	徒歩・バス
17:15	研修会	徒歩・バス
17:30	研修会	徒歩・バス
17:45	研修会	徒歩・バス
18:00	研修会	徒歩・バス
18:15	研修会	徒歩・バス
18:30	研修会	徒歩・バス
18:45	研修会	徒歩・バス
19:00	研修会	徒歩・バス
19:15	研修会	徒歩・バス
19:30	研修会	徒歩・バス
19:45	研修会	徒歩・バス
20:00	研修会	徒歩・バス

Q&Aコーナー

「商工会議所青年部」は何?」

「北海道の地方都市で卸業を営む23歳の会員です。友人の勧めで青年部に入会しました。これから、地域活動をやるべきかと考えているのですが、JOCや他の青年団体とどこが違うのか、いまいち分かりにくいのですが。」

「経済、地域活動の創造を」

「A」商工会議所は、昭和28年、今から40年前、商工会議所法第6条で「その地域内における商工業の総合的な改善発展を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に寄与することを目的とする」と定められた特別認可法人となり、総合経済団体として、公益性(不偏性)と国際性を持つ団体として地域経済社会発展のリーダーとして活動しています。

そのような商工会議所の青年部は、綱領で「商工会議所活動の一翼を担い、次代の先導者としての責任を自覚し」とし、次なる時代のリーダー、つまりそれだけの事業所、また商工会議所活動の後継者育成の役割を担って誕生したといえます。

しかし、各地商工会議所青年部の実態はさまざま、青年部独自に活動し、それを親会と言われる商工会議所が強力にバックアップしている状況は、バリエーションが豊富です。

「B」北海道の地方都市で卸業を営む23歳の会員です。友人の勧めで青年部に入会しました。これから、地域活動をやるべきかと考えているのですが、JOCや他の青年団体とどこが違うのか、いまいち分かりにくいのですが。」

も青年部活動は、その母体である商工会議所との相互理解、相互協力に立脚したものでなければなりません。

平成4年度の中央研修会(富士)の会員総会で、「YEG宣言」が唱えられました。これは、「商工業活動する青年として自己啓発し、その集合体である地域の青年部として地域振興に資し、そしてそれが全国的なネットワークとなっていく商青連(全国商工会議所青年部連合会)を活動すべての連帯の証とする」と説いています。

私は、ネットワークという連帯を意識し、それを駆使し、日本経済を支える零細、中小企業としての誇りを持って新しい経済活動、地域活動を創造していくことが商工会議所青年部ではないかと考えています。(全国商工会議所青年部連合会事務理事・辻正敏)

翔生 Communication PLAZA

会場は熱気ムムムムン 175名が参加 YEGセミナーのご報告

平成5年7月20日、午前10時30分より午後6時まで延べ7時間半にわたり、東京都内の鉄鋼会館において、YEGセミナーが開催されました。商青連役員をはじめ、全国各地より積極的かつ自己研鑽意欲の高いYEGメンバーが175名参加、会場は満席となりました。桜井商

青連会長の挨拶から始まり4時間の講演が行われました。1時限は日本アイ・イーエムの椎名会長より「これからの企業経営と経営者の役割」をテーマに80分、2時限はエム・オー・ジャパンの松阪社長より「今、日本は今、自分たちはテーマに90分、3時限は宗家南無の会会

長・松原泰道氏が人間を経営する人間の再構築」をテーマに60分、4時限は田舞実業エーの田舞社長に「可能思考で生き抜く」をテーマに90分の講演。講演内容はそれぞれ体験、実践に基づいたものであり、また同じ経営者として、ポリシーやフィロソフィーの明確な格調高いもので非

常に判りやすい内容でした。そのために聴衆であるYEGメンバーも講師から安らかに眠り下ささいと言われ

てさえ、眠るどころか真剣に聴き入っていた様子でした。日頃の行動に対する反省や、新たなやる気起きる様な



充実感を覚えたメンバーも多かったと思われる。本音で熱演をいただいた4人の講師の先生に、ご多忙のところスケジュールを調整いただき、高いとは言えない謝礼でありながら、我々のために引き受けいただき、改めて感謝致します。土屋研修委員長の閉会の挨拶をしめくり、貴重なYEGセミナーの一日が終りました。事務局の高松氏をはじめ、ご協力いただいた全ての皆様、研修委員会一同より、御礼申し上げます。なお、80冊用意した先生方の著書も先売し、一言メッセージとサインを戴けたことにも有難く報告申し上げます。(研修委員会委員長・小泉光一郎)

全国ネットの情報サービス

活用しませんか 日商のパソコン通信

さまざまなさまざまな特徴があります。

▼コミュニケーション各
地商工会議所で知りたい、
事業活動 お知らせ

知らせたい情報地域情報
事業活動 お知らせ

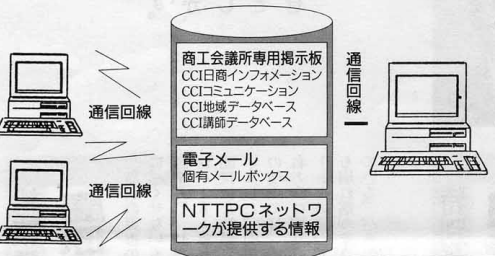
▼地域データベース一
般紙や地方紙に掲載された
情報をデータベース化
▼講師データベース各
地商工会議所から推薦され
た講師をデータベース化
このほか、商工会議所
の研修施設「カリアック」の
予約状況も検索できます。

加入するにはパソコンの
ほかに初期費用、電話回線
通信ソフト、通信アダプタ
1などとして約7万50
00円が必要です。
詳しい内容については、日
商情報化推進部 ☎03-3
283-7944 に問い合
わせてください。

パソコン通信を利用した「商工会議所情報交換サービス」は、昭和63年10月から始まり、これまでに145の商工会議所等が加盟、各種の情報サービスが行われています。これを利用して、ワープロ、パソコンを使っていろいろなデータを電話回線を通じて、自由にやりとりすることが出来ます。

▼日商インフォメーション
日商からの情報(主要行事予定、事業概要、経済地域)の動き

「商工会議所パソコン通信」の概念図



パソコン通信加入商工会議所(計145ヶ所) 平成5年8月現在

道県	支部	加入者	支部	加入者	支部	加入者	支部	加入者	支部	加入者	支部	加入者
(北海道)	札幌	伊達	旭川	室蘭	帯広	北見	根室	紋別				
	(東北)	青森	八戸	十和田	釜石	宮古	北上	仙台				
(北陸信越)	新潟	新潟	上越	長岡	三条	燕野	加茂	五泉				
	(関東)	水戸	古河	日立	下館	藤前	足利	日光地区				
(東海)	岐阜	半田	多治見	瑞浪	名古屋	岡崎	豊橋					
	(近畿)	福井	鯖江	大津	長浜	京都	大阪	大板				
(中国)	米子	備前	松江	出雲	松江	津山	児島					
	(四国)	徳島	鳴門	阿南	高松	松山	高知	八幡浜				
(九州)	福岡	諫早	直方	筑後	大分	佐賀	鳥栖	長崎				

北海道南西沖地震災害義援金に係る御礼について

北海道商工会議所青年部連絡協議会
会長 奥野賢一

皆様、時下ますます清輝のごことお喜び申し上げます。
本協議会の事業推進につきましては、平素より格別なるご協力を賜り、誠に御礼申し上げます。
さて、今般の北海道南西沖地震災害に際し、貴台におかれましては、全国の青年部の皆様にも義援金募集をお呼びかけいたしました他、貴連合会よりも義援金をお寄せいただきました。その心温まるご配慮に厚くお礼申し上げます。
全国各地の青年部の皆様より、寄附いただきました義援金は、100青年部4県連等より総額73万6000円(6月16日現在)に上り、6月6日日本赤十字北海道支部(6月6日)までにお寄せいただいた27万2000円とあわせてお渡しいた、残りの義援金につきましては、近日中にお渡しいたす予定です。
また、この他にも、独自に募金活動を行われた青年部の方もあらわれ、伺っております。なお、今回の義援金につきましては、日赤内の北海道災害義援金募集(配合)委員会を通じて、被災者の方々へお届けいたしますこととなっております。
ご協力いただきました皆様改めて感謝申し上げます。とりあえず書中をもちまして御礼申し上げます。
敬具

全国商工会議所青年部連合会
会長 桜井誠 己様

全国YEGの仲間の皆さん
熱い友情、
ご支援をありがとう!
北海道南西沖地震の義援金783万円に
商青連が、全国に呼びかけました。北海道南西沖地震の義援金は、10月12日現在で総額783万4152円になりました。商青連をはじめ青年部3県連からの協力により、北海道商工会議所青年部連絡協議会の奥野賢一会長より、お礼が届きました。

しょうせいれん なつとわーく

商青連には、5つの委員会があります。それぞれ分担して作業をしています。全国各地からの出向者が心を一つにして商青連の活性化のためにがんばっています。まずは各委員会の紹介をさせていただきます。

総務委員会

島原で移動委員会を開催

島原の災害の惨状は筆舌に尽くせないものでした。7月11、12日の両日、メンバー18人は藤本委員長に団長に長崎県島原市に向かいました。同市まで5km程度の地点では、突然、バスの右方向に切り立った数百メートルの熔岩ドームが今にも崩れ落ちそうな姿を見ている。バスのなかの会話

が一瞬途切れました。普賢岳は熔岩ドームから乾いた煙を吐き出しながら、小規模の火砕流を繰り返していました。道路わきは一面向が積もつていて、手におえるような状態ではありませぬ。中尾川上流の千本木地区は、6月に土石流と火砕流により、家屋は全滅、1名が死亡

しました。水無川流域につく。まさに地獄絵だ。数百戸が土石流に埋まり、屋根しか見えません。老人が一人、スコップとツルハシで埋まった家を掘り起こしている光景は痛々しい。自然界のエネルギーの前には人の力はあまりにも小さい。島原市の吉岡市長と面談してお話を伺い、私たちが商青連で活動に立つことがあればという藤本団長に、吉岡市長は「二人でも多く島原に来てください。安全です」。



島原は、町中が一瞬懸命でした。(委員長 藤本純)

研修委員会

より踏み込んだ意見交換を

商青連には三つの大きな事業があります。全国大会、九プロツクの地区大会、中央研修会です。我々、研修委員会は委員に富山から三島君、長野から小松君、愛知から樋口君、兵庫から中西君、大分から都君、そして副委員長に神奈川から小泉君、委員長に千葉県から私、土屋の布陣で組織しております。当委員会では来

年2月7、8日の三日間にわたって開かれる中央研修会を担当します。例年通り各単会の会長、次年度会長予定者、事務局を対象とし、神奈川県並びに小田原商工会議所青年部が主催します。中央研修会は、リーダーとして、活力ある青年部にするには①どのようなリーダーの仕方があるか②どのようなテーマを立てるか③そのテーマはどのように導き出すか、などについての討論の場にしたと考えてい



ます。多くの参加をお待ちしています。今年の7月に開催致しましたYEGセミナーは4名の講師をお迎えし、175人の会員の参加を得て盛況のうち終わることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。また、残り半年ではございますがよろしくお願ひ致します。(委員長・土屋雅彦)

特別委員会

組織改革に取り組み

商青連設立10周年という節目を終え、さらに組織を活性化させ、充実を図るため「変革の時、今YEGが未来を築く」をスローガンのもと、特別委員会として組織改革(組織図の作成

とそれに伴う規約の改正)に取り組んでいます。商青連としての大きな行事、全国大会、中央研修会、視察研修を充実させること、また商青連の活動や意志がスムーズにプロツク、県連、単会まで通じること、また逆に単会、県連、プロツクに商青連に通じることが大切にする組織図であり規約であることを目的として

「翔けYEGが商青連設立10周年記念誌として発行され、さらにより組織作りを目指す」といよいよ組織作りをスタートさせ、8名の委員で熱心に検討を続けています。しかし、現状を大幅に変更しようとする、同時に大幅な規約改正が伴います。このた

め、現状の良いところは残しながら、将来に向かってより良い運営が図れるための組織図の作成に大変苦労をしています。YEGスピリッツを充分に発揮し、商青連活動が将来に向かって成果を上げ、力を発揮できるように組織改革に邁進して行く所存です。(委員長・矢野精一)

広報委員会

愛される「翔生」を目指して



今年度は広報委員長という大役をお任せいたしました。幸い、秋田の賢木君、真岡の鶴見君、恵那の樋口君、奈良の本出君、普通寺の林君、益田の桐田君、那覇の喜納君と力強いメンバーに恵まれました。

広報委員会は、年2回の「翔生」発行が大きな事業

ですが、今年度から紙面のリニューアルに取り組みました。行間隔を広げ、文字を大きくしましたが、5月の全国アンケートを集計した結果、アンケートがあれだけ加えたいとの要望が多かったので実施することにしました。

各地青年部の会報の一層の充実には寄与するものと確信しています。

このほかに、全国のさまざまな情報を伝えるために日本商工会議所のパソコン通信ネットワークの普及に力を注いでいます。各単会で、パソコン通信に加盟いただけたら親会への働きかけもお願い致します。最後に、今後ともご指導ご協力をお願いします。(委員長・大山隆)

組織強化委員会

さらなる内部充実を

私が、商青連に出向して2年近くになりますが、青年部設置数は25単会増、商青連会員青年部41単会増と数字の上では飛躍しているが、大都市での青年部設立は進んでいません。それより問題は、各県、各プロツクの事情のバラつきがあり商青連、県連、単会からの情報交換及び連携が十分に機能していないのが現状です。出向者が役割分担して努力すれば、真の組織強化ができるはずです。昨年、山形で発表されたYEG宣言を实践すれば

理想の商工会議所青年部が実現すると確信しています。(委員長・高越哲彦)



「今、変革の時。翔生もこの号から思い切った編集を変えました。広報委員会のチャレンジにご意見、投稿をお待ちしています。本出良(奈良)

初め、商青連への出向で、多少の戸惑いがありました。が、大山委員長及び他の方々から、大変感謝しております。あと半年頑張ります。鶴見 真真岡

翔生を一読した時、内容が堅くて読みづらいと感じていたら、まさか作ると思っていたとは、変革は難しい。樋田芳久(恵那)

四国プロツク内の単会紹介運営研究会報告と四国プロツクからの発信をお届けしたいと思います。次回はお届けできると楽しみにしています。林 康清(普通寺)

今年、島根県より商青連役員として出向し、大山委員長の下、翔生の編集に参画できましたことを深く感謝致します。桐田 哲(益田)

EDITOR